



教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子
わにっこり

和邇小だより 令和7年 10月号
児童数377名 文責 澤村幸夫



キバナコスモス



2学期が始まって残暑が続く、日中は最高気温が30度を越える真夏日があるものの、ここ数日は随分と落ち着いてきました。その僅かな変化を察したかのように、夜中に聞こえてくる虫の鳴き声も、季節の移ろいを感じさせてくれています。和邇小学校の校庭には、鮮やかなオレンジ色をしたキバナコスモスが咲き続けています。6月下旬から咲き始めたキバナコスモスは、真夏の激しい日差しにも決して負けることなく11月ごろまで咲き続けます。

さて、10月は1年間の折り返し地点ですが、この季節は物事に集中して取り組むことに適した時期です。子どもたちには、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」など、様々な秋を楽しんでほしいと思います。10月10日（金）には運動会を開催いたします。これまで暑い中、子どもたちは一生懸命練習に励んできました。運動が得意な子も苦手な子も、もっている力を存分に発揮し、キラッと輝く日にしてほしいと思います。それと同時に、思い切り運動する心地よさや競い合う楽しさを味わってほしいと思います。

本来 子どもは

この夏休みに私は、全国の先生方と話す機会が何度ありました。その中のある友人は、「研究実践をすればするほど、教育の大切さを強く感じている」と力強く語っていました。明日の社会をつくる子どもたちを育てる学校の使命の大きさをあらためて感じた瞬間でした。

教育の大切さは、いろいろな場面で取り上げられています。その中で、「本来、子どもは・・・」という言葉をよく聞きます。「本来、子どもは、人や自然との関わりの中で学ぶもの」「体を動かすことを好むもの」「好奇心が旺盛で様々なことに興味をもつもの」「小さい失敗を繰り返しながら、成長するもの」「我慢を通して深い喜びを知るもの」「物事を素直に感じとる心があるもの」「褒められたり、叱られたりして育つもの」などです。もちろん個人差はありますが、いつの時代でも変わらないと思います。しかし、近年こうした本来の子どもの姿が見られなくなったという指摘があります。もし、そうであるならば、私たち教師を含めた大人にその原因があると思います。例えば、子どもの前で、他者との良好な関わり方ができていなかったり、子どもが失敗しないように手を出し過ぎていたり、また、やり始めたことをすぐにやめようとしたとき簡単に同意したり、さらには、大人の都合だけを優先して育てようとしたりなどです。

私たち大人は、本来子どもがもっている多くの力を引き出し、必要なときに自ら発揮できるようにすることが大事な役割です。そのためには、子どもを信じて任せたり、先走らずに見守ったり、子どもの思いを丁寧に受け止めて一緒に考えたりすることなどが大切だと思います。また、時には「本来子どもは・・・」と心にゆとりをもって子どもと向き合うことも重要です。そうすることで、今まで見過ごしてしまっていた子どもの良さや可能性をたくさん見つけることができるからです。今後も、本来の子どもの姿を心にとめて、教育活動に努めていきたいと思っています。

わにっこり 防災プロジェクト 大津市 学校 夢づくりプロジェクト

学校夢づくりプロジェクトの一環として、和邇小学校では、「わにっこり防災プロジェクト」に取り組んでいます。

1つは、地域防災会、地区消防、PTAと協働で、防災学習を進めています。もう1つは、和邇商店街連盟と連携して、街を盛り上げる活動です。

6年生は、地域の方にご指導いただき、かまどベンチを作りました。学校が避難所になった時、普段は中庭のベンチとして使用しているものがかまどになります。砂にセメントを混ぜ、レンガを積み上げていきます。自らの手で作ったかまどベンチは、いざという



時に役立ちます。完成後は、実際に薪を使って活用する予定です。ダンボールパーテーション、ロープワークとブルーシートテント、希望者による1泊2日の親子避難所体験と続きます。

商店街を盛り上げる企画では、商店街で買い物をする、和邇小オリジナルティッシュがもらえる、お店のポスターを作る、インスタグラムでわにっこりがお店を宣伝する、街灯に旗を立てる、商店街スタンプラリーを完成させると「ガチャ」のコインがもらえ、妹子祭りでは「ガチャ」が回せる、ガチャには、えんぴつや消しゴム、オリジナルキーホルダー、防災ひとくちメモなどが入っています。また、妹子祭り当日には、「防災クイズ」というブースを設け、参加者には、同じく「ガチャ」のコインがもらえます。地域つながり委員会を中心に活動は進みます。



2年 校区探検 9/25

2年生は、学校周辺の5つのお店におじゃまして、商売の工夫や働くことについて、くわしく話を聞くことができました。子どもたちには、たくさんの発見がありました。



わにっこりソングをつくろう

イベント委員会では、シンガーソングライターの沖瀬さやかさんに来校いただき、「わにっこりソング」の相談をしました。全校から募集したわにっこりにまつわる言葉を歌詞にしてもらい、ポップな曲に仕上げてもらいました。完成披露会は、11月3日に行われる妹子祭りです。当日は沖瀬さやかさんに参加いただき、特設ステージで歌っていただく予定です。



1年生 春日山公園 校外学習

9月26日に1年生は、「春日山公園」に校外学習にでかけました。電車に乗って、堅田駅まで行き、歩いてかすが山公園に着きました。「きまりやマナーを守って、ともだちとなかよく、学習しよう」というめあてをしっかりと意識して、楽しい校外学習になりました。短い動画にまとめたので、ご視聴ください。






和邇小学校の
ホームページ

和邇小学校のホームページをご覧ください。子どもたちの様子を掲載しています。

学校だより「わにっこり」のバックナンバーは、ホームページの「**学校便り**」にあります。



第7弾 「子どもの自己主張」

このコーナーは、子育てと子どもの幸せをサポートする情報を提供するニューズレターです。子育てのヒントやこれからの時代に大切にしたい教育の話、健康で幸せな生活に役立つ情報を掲載したいと考えています。未来をたくましく生

きる子どもたちにつけてほしい本当の力とはいったい何か、子どもが生涯にわたり幸せに生きていくには、周囲の大人はどんな関わりを大切にしていけば良いのかについて、共に考えていきたいと思います。

第7弾は、「子どもの自己主張」です。和邇小学校でも、「子どもが言うことをきかないんです。つい感情的に叱ってしまっ。どうしたらいいのでしょうか。」という悩みを聞きます。子どもが成長して小学生ぐらいになると、親の指示に従わないことが増えてきます。子どもが反抗的で、子育てに悩んでいるという保護者は少なくないと思います。では、いったいなぜ、子どもは親の言うことを聞かなくなるのでしょうか。

子どもが親の言うことを聞かないのは、ただの子どものわがままと捉える人もいるかもしれません。しかし、親のいうことに納得感がもてない可能性があります。子どもは成長するにつれて脳が発達し、自分で物事を深く考えられるようになっていきます。それに伴って自分なりの意見をもてるようになり、それが親からすると反抗的に見えることがあります。つまり、これは見方を変えれば自己主張であり、成長の証でもあります。むしろ喜ばしいことです。子どもが言うことを聞かないと感じたときは、無理に言うことを聞かせるのではなく、子どもの意見にも耳を傾けて尊重する姿勢を見せることが大切だと思います。

一方、子どもに悩み事がある場合があります。イライラしたり落ち込んだりして、指示を聞く余裕がないということもあるかもしれません。子どもが今どんな気持ちなのかをくみ取り、寄り添っていくことも必要です。子どもが指示に従わないときは、頭ごなしに叱りつけるのではなく、どうして嫌に感じてしまうのかという根本的な理由を探っていくことが大切です。

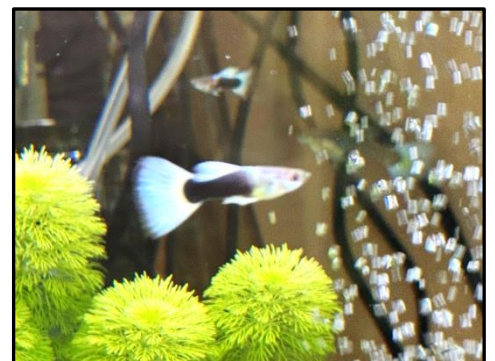


学校のディスカスのペア
本文との関連はありません。

子どもに、親の言うことを聞かせるには、ポジティブに伝えるようにすると効果的です。「これをしなさい」と叱るのではなく「これができたらすごいよ」といった伝え方をするだけでも印象は大きく変わります。「子どもを甘やかしているだけ」と感じがちですが、自然とやる気が出るような伝え方をするように工夫することが大切です。また、できないことを叱るばかりではなく、普段からできていることにも目を向けて認めてあげましょう。悪い面ばかり指摘されていると気分が沈んでしまいますが、普段からしっかりと良い面を認めていくことで、子どもは納得感を持つことができます。

子どもが言うことを聞かないと、カッとなって感情的に叱りつけてしまうケースもあると思いますが、高圧的な態度で押さえつけると、子どもはより一層反抗してきたり、反対に自己肯定感が低くなって自分の意見を言えなくなったりします。怒られてばかりだと、大人でも自信を失ったり、モチベーションが下がったりするものです。穏やかな伝え方を工夫することで、お互いストレスの少ない対話ができるのだと思います。

子どもに指示を聞き入れてほしいときには、叱りつけるのではなく、伝え方を工夫することです。日頃から褒める部分はしっかり褒めつつ、改善してほしいところはしっかり伝えましょう。子どもは、自分の考えを持った一人の人間なので、対等な人間関係になるように意識することが、指示を聞き入れる柔軟性を育むための第一歩です。



学校のグッピー
(ドイツイエロータキシード)
本文との関連はありません。